都市再生整備計画 事後評価シート 豊後高田"昭和の町"地区

平成23年3月

大分県豊後高田市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 指標1 来訪者数 人 249,392 H16 336,600 H22 380,726 367,979 O あり で整備等を進めたことにより来訪者が増加した。 "昭和の町"の商店街の魅力の向上や観光拠点の整備等を進めたことにより来訪者が増加した。 | 標等は据え置く 性化基本計画にあわ まりかわらないため、 |
|--|---|
| 当初計画に 位置づけ、 実施した事業 遠路(結構)、高質空間的成施設(結構(道路改張と併せた美味化))、既存建造物活用事業(登後高田 '昭和ロマル産' の北蔵) 事業名 | 標等は据え置く 性化基本計画にあわ まりかわらないため、 こめ、数値目標等は わったのでは、 とか、数値目標等は なったのでは、 できまれる。 |
| 位置づけ、 実施した事業 | 標等は据え置く 性化基本計画にあわ まりかわらないため、 こめ、数値目標等は フォローアップ 予定時期 |
| 実施した事業 提案事業 地域創造支援事業 (自納管景事業、受き店舗・宣客活用事業、拠点施設活用事業)、事業活用調査 (中央公園等の活用方葉検討調素、注の魅力度調査 (事後調金))、まちづり活動支援) 事業名 削除/追加の理由 削除/追加のによる目標、指標、数値目相 削除/追加のによる目標、指標、数値目相 削除/追加による目標、指標、数値目相 削除/追加による目標、指標、数値目相 削除/追加による目標、指標、数値目相 削除/追加による目標、指標、数値目相 非本に見加し 非本に見加した事業 提案事業 事業活用調査 (体なみ修養のあり方検討調査) 地域住民や観光等の通行時の安全を確保する必要が生じたわ適加 過額 (市造食台育新地線) | 標等は据え置く 性化基本計画にあわ まりかわらないため、 こめ、数値目標等は フォローアップ 予定時期 |
| 事業の実施状況 事業の実施状況 事業 | 標等は据え置く 性化基本計画にあわ まりかわらないため、 こめ、数値目標等は わったのでは、 とか、数値目標等は なったのでは、 できまれる。 |
| 当初計画から 基幹事業 に | 標等は据え置く 性化基本計画にあわ まりかわらないため、 こめ、数値目標等は わったのでは、 とか、数値目標等は なったのでは、 できまれる。 |
| 削除した事業 | 性化基本計画にあわまりかわらないため、 cめ、数値目標等は プナローアップ 予定時期 |
| 1)事業の実施状況 | 性化基本計画にあわまりかわらないため、 cめ、数値目標等は プナローアップ 予定時期 |
| 1) 事業の実施状況 | まりかわらないため、 |
| 1)事業の実施状況 新たに追加した事業 公園(中央公園) 地域生活基施設(昭和の町バス駐車場・中央商店街駐車場) 高質空間形成施設(中央公園遊具等) ・漁州・大き観光客の内消な民で、自意料車・大型バスの駐車場整備を追加・・公園事業の一部を高質空間形成施設として追加 ・漁州・大き観光客の内滑な誘導施設が必要となったため追加 ・漁州・大き観光客の円滑な誘導施設が必要となったため追加 ・漁州・大き観光客の円滑な誘導施設が必要となったため追加 ・高次都市施設の一部を提案事業として追加 ・高次都市施設の一部を提案事業として追加 ・高次都市施設の一部を提案事業として追加 ・一本成23年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事実行委員会活動支援」 ・一本成23年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成23年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成24年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成24年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成24年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成24年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成23年に予定する「昭和の町工を担い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成24年に予定する「昭和の町工を関い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成24年に予定する「昭和の町工を関い同本応念行事の検討を行うため追加 ・平成28年に予定する「昭和の町工を関い同本応念行事を持つを加いを開発して、「中域24年に予定する「中域24年に対する「中域24年に予定する「中域24年に予定する「中域24年に予定する「中域24年に対する」を対する「中域24年に対する「中域24年に対する」を対する「中域24年に対する」を対する「中域24年に対する」を対する「中域24年に対する」を対する「中域24年に対する」を対するといるといるに対するといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといる | cめ、数値目標等は 7オローアップ 予定時期 |
| ### おたに追加した事業 | cめ、数値目標等は 7オローアップ 予定時期 |
| | 7 _{オロ} ーアップ 予定時期 |
| 提案事業 地域創造支援事業(昭和の茶の間・商店街再現事業) 地域創造支援事業(昭和のボンネットパス活用支援) 地域創造支援事業(昭和のボンネットパス活用支援) 地域創造支援事業(昭和の町土護10周年記念行事実行委員会活動支援) ・ | 7 _{オロ} ーアップ 予定時期 |
| 提案事業 地域創造支援事業 (昭和のボンネット/ス活用支援) | 7 _オ ローアップ 予定時期 |
| 「記述報元や利には「イント等の支援などを目的に追加 | 7 _オ ローアップ 予定時期 |
| 交付期間 の変更 当初 平成18年度 で 平成22年度 変更 交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響 数値 目標 | 予定時期 |
| の変更 変更 平成 年度 ~ 平成 年度 指標、数値目標への影響 指標 単位 世位 目標値 数値 目標度度 1年以内の達成見込み 一部の町"の商店街の魅力の向上や観光拠点の整備等を進めたことにより来訪者が増加した。 | 予定時期 |
| 指標 単位 送準年度 目標値 数値 目標 達成度 1年以内の 達成見込み (総合所見) 指標1 来訪者数 人 249,392 H16 336,600 H22 380,726 367,979 〇 あり で設備等を進めたことにより来訪者が増加した。 "昭和の町"の商店街の魅力の向上や観光拠点の整備等を進めたことにより来訪者が増加した。 | 予定時期 |
| 指標 単位 基準年度 目標年度 モニタリング 評価値 達成度 達成見込み (総合所見) 指標1 来訪者数 人 249,392 H16 336,600 H22 380,726 367,979 〇 あり の整備等を進めたことにより来訪者が増加した。 | 予定時期 |
| #位 基準年度 日標年度 モニダリング 評価値 達成度 達成見込み (総合所見) 指標1 来訪者数 人 249,392 H16 336,600 H22 380,726 367,979 〇 あり "昭和の町"の商店街の魅力の向上や観光拠点 の整備等を進めたことにより来訪者が増加した。 | |
| 指標1 来訪者数 人 249,392 H16 336,600 H22 380,726 367,979 〇 はいることにより来訪者が増加した。 | H24年3月末 |
| の登編寺を進めたことにより未訪者が増加した。 | H24年3月末 |
| | |
| | |
| 2)都市再生整備計画 数り 空き店舗の活用や、"昭和の町"として修景された に記載した目標を 指標2 空き店舗解消率 % 2 H15 22 H22 51 49 O 一 店舗での営業という付加価値等により新規出店 | H23年4月 |
| 定量化する指標 | 1120-171 |
| つきません。 | |
| ************************************ | H23年4月 |
| tol タナロ タナロ タナロ カー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィ | 1120-171 |
| N. 71-0 | |
| 指標4 まちの魅力度 - 3 H17 4 H22 - 4.5 〇 一切がような 一切がよう でき店舗・空家の活用や昭和の町での雇用者の 一切がような 一切がまる 一切がような 一切がような 一切がような 一切がような 一切がまる 一切がような 一切がような | H23年5月 |
| は、「は、「は、」」は、「は、」」は、「は、」」は、「は、」は、いは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | 1120-071 |
| | フォローアップ |
| 指標単位 基準年度 日標年度 モニタリング 評価値 達成度※1 達成見込み (総合所見) | 予定時期 |
| その他の HARTHORE 3 巻巻 1 745 H13~ | |
| 3)その他の数値指標 数値指標1 地区内の転入者数 人 715 H17 806 806 より、他地区からの転入者が増加した。 | 平成23年4月 |
| (当初設定した数値) 観光拠点の充実や店舗の修景により、来訪者数 | |
| 日標以外の指揮リューテの他の一体区内の一体区内の一体区内の一体区内の一体区内の一体区内の一体区内の一体区内 | T-500 (T + 1) |
| よる効果発現状況 数値指標2 費金額 円 3,233 H18 4,693 4,693 | 平成23年4月 |
| It is | |
| その他の サナキの世界時間 ハー・ロスロー リロロー 現光の目玉が新たにできたことや、回遊を促す情 | T + 00 / 1 |
| 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 | 平成23年4月 |
| ・空き店舗の活用や昭和の町生誕10周年記念行事実行委員会活動などにより、"昭和の町"の商店街の一体化が図られ、平成19年度より「昭和のまちなみラリー」や「玉津祭り」といったイベントを商店街が自主的に開始し、来訪者の増加につながっている。 | |
| 4)定性的な効果 ・昭和ロマン蔵の北蔵がオープンし、市民の発表や研修の場が新たにできたことで、市民が積極的に利用しており、市民のコミュニティ活動が活発化した。 | |
| 発現状況 ・中央公園の活用方策の検討や、中心市街地活性化協議会の開催などの地元まちづくり活動の支援を通して、住民のまちづくりに参加する機会が増加。それらをきっかけに活動に自ら積極的に参加する住民が増え、市民団体や老人クラブが、公園の清掃活動に参加するようになった。 | |
| 実施内容・実施状況・今後の対応方針等 | |
| 都市再生整備計画に記載し、実施できた 指標1~3については、交付期間途中に供用した事業の効果を把 | |
| 世後高田市各課資料等によるモニタリング お市再生整備計画に記載はなかったが、実施した かった。モニタリング同様に各年で整理している豊後高田市各課資料 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった る。 | 等により確認す |
| 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載し、実施できた ● | |
| 卸巾丹王堂順引回に記載し、実施した ● 今後も引き続き懇話会を開催しながらまちづくりを推進する。 | |
| 5)実施過程の評価 住民参加 増取の評価 住民参加 場が正常ない。 | |
| | |
| 地元まちづくり活動支援事業 都市再生整備計画に記載になかったが、実施した 今後も引き続き協議会等を開催しながらまちづくりを推進する。 | |
| 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | |
| またがいたます。 さんぱん かんかい かんがく おもっぱい かんがく はん | って、商業と観光 |
| # 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | |
| 本前の情楽 中心中旬地活性化については、今後も引き続き協議会を開催す | 6 |

様式2-2 地区の概要



今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

- 1) 昭和30年代を感じる商店街づくりと既存の施設や環境を生かしたにぎわいづくり
- 〇昭和30年代を感じさせる商店街づくりを行うことで地区の一体的な魅力をさらに向上させるほか、周辺地区との連携や新しく整備された施設の活用方法を検討し、一層の観光地としての魅力向上を図る。 2) 既存施設・商店街の再点検・強化と市民が中心となったまちづくり
- 〇昭和の町のにぎわいを継続的なものとするため、観光拠点や商店街店舗の魅力の再点検や、市民が中心となった活動を継続的に実施できるような組織や活動のあり方の検討を進める。
- 3)都市施設の活用・見直しと高齢化に対応した安全・安心なまちづくり
- 〇リニューアルされた中央公園等の都市施設をコミュニティ活動の場として活用しつつ形成されたコミュニティの強化を行うほか、高齢者が地区内を安全かつ安心して公共サービスや日常の買い物などの民間サービスを受けることができるまちづくりを進め、定住促進を図る。